

中学生記者が  
取材しました!

# ～あなたのまちは大丈夫?～ 地域の防災力を高めよう!



大きな地震や火災がいつ起きるかは、誰にも分かりません。だからこそ「いざというとき」のためには、日ごろからの備えが大切になります。

今月は、4人の中学生広報記者が自ら体験取材した地域の防災への取り組みを紹介します。

【詳細】 北区総務企画課地域安全担当係 ☎北区役所内線214

いざというときに備えて…  
みんなが参加する防災訓練

「平日、仕事がある人も参加できるように、訓練は毎年日曜日に行っています」と話すのは、拓北・あいの里地区にある興産社町内会の伊藤昭会長。同町内会では、各班長をはじめ、多くの人に参加してもらおうと、毎年、8月下旬から9月上旬の日曜日に防災訓練を行っています。

今年の訓練にも、約70人の住民が集まりました。参

加者は、北消防署あいの里出張所職員の指導を受けながら、消火訓練や救命訓練などに真剣に取り組んでいました。

「いざというときには、助け合いが必要です。この地区は、隣家と離れている家も多く、日ごろの訓練は大事ですね」と語る伊藤会長。記者も参加したバケツリレーでは、皆さん見事なチームワークを見せていました。

地域が一つに

この取材で感じたことは、日程を工夫することで、小さな子どもから高齢者まで多くの人が参加でき、地域に一体感があつたことです。大きな地震や火災が起きたときには、住民同士の助け合いが欠かせません。昨年度は、約70の町内会で防災訓練が行われたと聞きました。地域の「防災力」を高めるために、住民みんなが参加できる訓練がもっと増えるといいと思いました。



狙いを定めて消火器を噴射します



バケツリレーに参加した前田記者 (右から二人目)



三角巾の使い方を学ぶ参加者